

# 平成 29 年度 第 1 回 貸出文庫新着案内

## 予約受付開始：平成 29 年 10 月 25 日（水）午前 9 時から

書名	著者	出版社	頁	内容説明
赤へ	いのうえ 井上 あれの 荒野	祥伝社	235p	ふいに思い知る、すぐそこにあることに。時に静かに、時に声高に…。「死」を巡って炙り出される人間の“ほんとう”。ウェブマガジン「コフレ」に掲載された「雨」「どこかの庭」など、10の物語を収める。（第29回柴田錬三郎賞受賞）
月の満ち欠け	さとう 佐藤 しょうご 正午	岩波書店	322p	この娘が、いまは亡き我が子？いまは亡き妻？いまは亡き恋人？そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。欠けていた月が満ちるとき、喪われた愛が甦る。3人の男と1人の少女の人生が交錯し、幾重にも織り込まれてゆく数奇なる愛の軌跡。（第157回直木賞受賞）
ツバキ文具店	おがわ 小川 いと 糸	幻冬舎	269p	伝えられなかった大切な人への想い。あなたに代わってお届けします。ラブレター、絶縁状、天国からの手紙…。鎌倉で代書屋を営む鳩子の元に、今日も風変わりな依頼が舞い込む。
罪の声	しおた 塩田 たけし 武士	講談社	409p	家族に時効はない。今を生きる「子供たち」に昭和最大の未解決事件は影を落とす。「ギンガ萬堂事件」の真相を追う新聞記者と「男」がたどり着いた果てとは…。気鋭作家が挑んだ渾身の長編小説。（第7回山田風太郎賞受賞）
出会いなおし	もり 森 えと 絵都	文藝春秋	230p	「年を重ねるということは、おなじ相手に、何回も、出会いなおすということだ」…。出会い、別れ、再会、また別れ。人は会うたびに知らない顔を見せ、立体的になる。人生の特別な瞬間を凝縮した珠玉の6編。
不時着する流星たち	おがわ 小川 ようこ 洋子	K A D O K A W A	251p	グレン・グールドにインスパイアされた短篇をはじめ、パトリシア・ハイスミス、エリザベス・テイラー、ローベルト・ヴァルザー等、かつて確かにこの世にあった人や事に端を発し、その記憶、手触り、痕跡を珠玉の物語に結晶化させた全10篇。硬質でフェティッシュな筆致で現実と虚構のあわいを描き、静かな人生に突然訪れる破調の予感を見事にとらえた世界文学。
北斎まんたら	かじ 梶 こう子 よう子	講談社	290p	葛飾北斎の弟子になるため江戸へやってきた三九郎。だが、相手にしてくれたのは美人画の絵師、溪斎英泉こと善次郎だけ。そんな折り、北斎の枕絵の贋作が出回っていることがわかり…。浮世絵の終焉を描いた絵画歴史小説。

\* 上記内容説明は「トーハンマーク」から引用

- ・ 1タイトルにつき 20 冊所蔵しています。
- ・ 申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当 TEL：048-523-6291（代表）